

妙高高原南小

NO. 9 平成24年1月18日

新年あけまして、おめでとうございます。

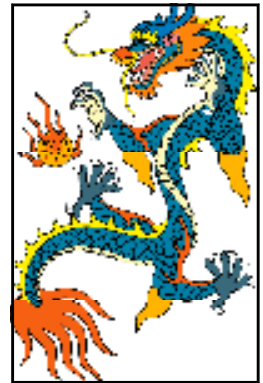
冬休みに入ってから毎日のように雪が降り、現在、学校の積雪は200cmを超えました。そんな中、10日に3学期の始業式を行いました。休み中も大きな事故なく、全員笑顔で登校できたことを嬉しく思います。

辰年に思う

昨年は、3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う原子力発電所の事故・放射能問題、日本と諸外国との安全保障問題やTPP問題、さらには国全体の財政危機など次から次と暗く、不安な情報が飛び交った年でした。正直、世の中はこれからどうなっていくのか、全く見通せない状況です。

そんな中、学校に勤め子どもたちに囲まれた日々を過ごしていると、その笑顔に心癒され、明日への活力をもらっています。子どもたちは、日本の宝であることを実感するとともに、激動の世の中を生き抜いていくための力を身に付けさせなければならないと、改めて思います。地域と家庭と学校が手を携えて、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせていきましょう。

始業式では、下の辰年の語源・由来を取り上げ、24年は、辰年の由来のように勉強に、運動に、絆づくりに、前向きに取り組み、持てる力を十分発揮し、一人ひとりが成長をより実感できる年にしましょうと今年への思いを話しました。



辰年の語源・由来

「辰」の本来の読みは「しん」で、源字は「蜃」。『漢書 律曆志』では「動いて伸びる」「整う」の意味を持ち、草木が盛んに成長し形が整った状態を表すと解釈されている。これを「龍（竜）」としたのは、庶民に十二支を浸透させるために動物の名前を当てたものであるが、唯一採用された伝説上の生物である。

語源由来事典より

学習ボランティア

スキー授業が始まり、放課後の実施回数が少なくなっている「学びの広場」ですが、1月から担当教師のお手伝いをさせていただく学習ボランティアとして松本清美さんから来ていただいています。主に低学年のプリントの採点や九九などの暗唱の聞き手などをしていただいています。冬場は手薄になりがちな「学びの広場」でしたが、松本さんのお陰でたいへん助かっています。

子どもたちの学力向上のために、ご尽力いただきます。よろしくお願ひします。

スキー授業にも例年のとおり、平日にもかかわらず多くのボランティアの皆様から指導に入らせていただいております。いろいろな技術レベルの子どもたちがいる中、たいへん助かっています。今年もよろしくお願ひします。



来年度に向けて

来年度は、学習効果をより上げるために、多くの学習ボランティアを募り、学習効果を上げていきたいと考えています。前述の「学びの広場」や家庭科・体育・図工などでボランティアのお力をお借りしたいと思ひます。子縁活動人材制度の山崎京子コーディネーターを中心に幅広くボランティアを募りたいと考えていますので、よろしくお願ひします。